

エコアクション21 環境活動レポート

(対象期間 2017年5月～2018年4月)



作成日 2018年 9月1日

改定日 2018年11月1日

日東事務機株式会社

■組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
日東事務機株式会社
代表取締役社長 村瀬 尚宏
- (2) 所在地
本社 岐阜県岐阜市西荘4丁目7番5号
商品技術センター 岐阜市西荘3丁目9番5号
東濃支店 岐阜県可児市広見5丁目86
滋賀営業所 滋賀県米原市寺倉字御所立448番地3
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 代表取締役専務 村瀬 勇人 TEL:058-251-7758
担当者 管理部 脇田 夕子 TEL:058-251-7758
- (4) 事業内容
オフィストータルマネジメント
デジタル複合機・FAXプリンタ等の販売及び保守
オフィス家具の販売及びワークプレイスの構築
オフィス移転・リニューアル等の総合プロジェクトマネジメント
PC及び周辺機器の販売及び保守
情報系及び通信系におけるネットワーク等のインフラ構築
通信機器・PBXの販売及び工事・保守
アスкул等のオフィスサプライの販売
- (5) 事業の規模
売上 10.7億円
- | | 本社 | 商品技術センター | 東濃支店 | 滋賀営業所 |
|-------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 従業員 | 26名 | 無人 | 3名 | 0名 |
| 延べ床面積 | 451.856m ² | 630.12m ² | 110.65m ² | 52.17m ² |
- (6) 事業年度 5月～4月

■認証・登録の対象組織・活動

全社・全活動を認証・登録の対象としています。

登録事業者名: 日東事務機株式会社

対象事業所: 本社
商品技術センター
東濃支店
滋賀営業所

活動: オフィストータルマネジメント
デジタル複合機・FAXプリンタ等の販売及び保守
オフィス家具の販売及びワークプレイスの構築
オフィス移転・リニューアル等の総合プロジェクトマネジメント
PC及び周辺機器の販売及び保守
情報系及び通信系におけるネットワーク等のインフラ構築
通信機器・PBXの販売及び工事・保守
アスкул等のオフィスサプライの販売

■ごあいさつ

昭和42年創業以来、事務機販売を通じ皆様のオフィスの効率化、快適化のお役に立つ努力を重ね「小さくてもNo. 1企業をめざす」を合言葉にお客様の様々なニーズに素早く対応する努力を続けて企業力を高めてまいりました。時代がデジタル化、ネットワーク化、高速化する今日、あらゆるビジネスシーンに対応できるオフィス環境の構築は重要な問題となっております。こうした中、日東事務機は常にお客様のパートナーとして時代がもたらす様々な問題を解決するオフィス空間を提案してまいりますので、これからも変わらぬご愛顧のほど心からお願い申し上げます。

日東事務機株式会社

代表取締役社長 村瀬 尚宏

■環境方針

《基本理念》

私たち日東事務機株式会社は、「より愛される企業をめざす」を企業理念とし、地域社会の一員として、主たる事業である事務機販売及びサービス業務の活動を通じて、多くのお客様へ環境負荷低減の提案をしております。

また、次世代へより美しい自然環境を引き継ぐため、限りある地球資源を大切に、全社員が高い意識を持ち、地球環境の保全に貢献します。

《行動指針》

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に意識し、次の項目を重点課題として取り組みます。

- ①電力及び自動車燃料の削減により地球温暖化防止に努めます。
- ②節水による水使用量の削減に努めます。
- ③廃棄物排出量の削減及びリサイクルに努めます。
- ④環境に配慮した製品の販売及び保守活動に努めます。
- ⑤社内備品、事務用品等のグリーン購入と調達に努めます。
- ⑥会社周辺道路の清掃活動による美化維持に努めます。

2. 環境関連法規制や弊社が約束したことを遵守します。

制定日：2015年9月1日

代表取締役社長 村瀬 尚宏

■主な環境負荷の実績

項目	単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	122,560	114,458	116,437
廃棄物排出量	kg	14,621	13,733	14,296
一般廃棄物排出量	kg	実績把握中	397	491
産業廃棄物排出量	kg	14,621	13,336	13,805
総排水量	m ³	315	174	180

※電力の二酸化炭素排出量換算値 0.497kg-CO₂/kWh

※化学物質の使用はありません

■環境目標及びその実績

項目	年度	基準年	2017年		2018年	2019年
		2016	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
二酸化炭素削減 総量	kg-CO ₂	116,437	115,855	111,990	115,273	25,608
	比率*		99.5%	96.7%	99.0%	98.5%
	電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	25,997	25,867	18,634	25,737
	比率*		99.5%	72.0%	99.0%	98.5%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	90,440	89,988	93,356	89,536	98.5%
	比率*		99.5%	103.7%	99.0%	98.5%
一般廃棄物の削減	kg	491	489	486	486	484
	比率*		99.5%	99.5%	99.0%	98.5%
産業廃棄物の適正処理	kg	13,805	適正処理100%	14,049	適正処理100%	適正処理100%
	比率	適正処理100%	適正処理100%	適正処理100%	適正処理100%	適正処理100%
水道水の使用量削減	m ³	180	179	200	178	177
	比率*		99.5%	111.7%	99.0%	98.5%
グリーン購入の推進		グリーン購入100%	グリーン購入100%	グリーン購入100%	グリーン購入100%	グリーン購入100%
製品・サービスへの環境配慮	台(複合機)	337	340	317	344	347
	比率*		101%	93.1%	102%	103%

*注 比率: 目標は、基準年度比
実績は、実績値/目標値

■環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

数値目標：○達成 ×未達成

◎よくできた ○まあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度の取組	取組結果とその評価
--------	------	--------	-----------

電力による二酸化炭素削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	本年度は1階と2階を常時事務所としていたのを、2階のみを常時事務所としレイアウト変更を行いました。電力の使用量に関してはこれまで約3割程度の大幅な削減を達成することができました。今後もエアコンの老朽化に伴い最新型への入替を検討しております。更なる削減を目指し取り組みます。
・PC、MFPの省エネ(スリープ)モードの設定	○	強化	
・ケーブルの採用	◎	継続	
・室内温度の調整調整	○	強化	
・トイレ不使用時、通路照明不要時の消灯	◎	継続	
・屋根への遮熱塗料の塗装	○	継続	
・LED照明への切り替え	○	継続	

自動車燃料による二酸化炭素削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	今期のガソリン使用量の実績も増加という結果でしたが、数年ほど前から社用車の更新はエコカーを導入し継続中である。半数以上の社用車がエコカーである現状、毎年の削減は難しいと思われるが、エコドライブを徹底するなど削減に繋がる呼びかけを強化していきます。
・エコドライブの徹底	△	強化	
・無用なアイドリングの防止	△	強化	
・タイヤ空気圧の適正値維持	△	強化	
・冷暖房を控えめに使用する	△	強化	
・エコカーの導入	◎	継続	
・更新時に低燃費車の選択	◎	継続	

一般廃棄物の削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	昨年度と比較本年して度は若干減らすことができました。今後も用紙の無駄遣いをなくし継続的に取り組んでいきます。
・コピー用紙の両面使用をする	△	強化	
・書類内容のレイアウトを見直し、枚数を少なくする	△	継続	
・文書の共有により、不要な印刷物を削減する	△	継続	
・シュレッダー廃棄量を計測監視実施	○	継続	

産業廃棄物の削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	産業廃棄物は適正処理100%を目標とし、実績としても適正処理100%することが出来ました。今後も継続して取り組んでいきます。
・産廃処理(廃棄依頼)量の計測監視実施	◎	継続	
・在庫管理の徹底により、不良在庫を減らす	◎	継続	
・分別を徹底する	○	継続	

水道水の使用量削減

数値目標	達成状況	次年度の取組	本年度は昨年度と比較すると増加はしておりますが、エコアクション21の取り組み開始初年度の実績と比較すると大幅に減少しているため、今後も継続して取り組んでいきます。
・節水表示を行う	×	強化	
・水道を流しながら使用しない	○	継続	
・蛇口・排水管の水漏れがないか確認をする	△	強化	

グリーン購入の推進

取り組み計画	達成状況	次年度の取組	主な購入商品は各メーカーのカタログ等に記載されているグリーン購入適合商品を購入。
・社内用購入時チェックの強化	○	継続	
・グリーン購入100%	○	継続	

製品・サービスへの環境配慮

数値目標	達成状況	次年度の取組	本年度は前年と比較すると年間を通じて約20台弱の販売台数の減少という結果でした。官公庁による大口案件がなかったことなど様々な要因は考えられますが、当社の本業でもある複合機販売を通じて省エネ設計機種の販売促進に取り組んでいきます。
・客先業務合理化の提案促進(主にデジタルMFP)	○	強化	
・既存顧客の省エネ設計機種へのリプレース推進	○	強化	
・客先省エネ促進商材の提案(取扱商品全般)	○	強化	
・メーカー協賛の拡販キャンペーン実施	×	強化	

社会貢献

取り組み計画	達成状況	次年度の取組	定期的な清掃活動できるよう徹底していきたい。
・会社周辺の清掃活動	△	強化	

■環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等が遵守されていることを確認しました。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

主な環境関連法規	遵守評価(○:遵守、×:要改善)
フロン排出抑制法	○
消防法	○
グリーン購入法	○
廃棄物処理法	○

■代表者による全体の評価と見直し

本年度は電力使用量削減を主な取り組みとして活動しました。エコアクション21取り組み開始以来、遮熱塗料の塗装・LED照明への交換・太陽光発電など様々な取り組みをしてきました。本年度は社内全体のレイアウト変更を見直すにあたり、エアコンの使用に関しても意識しながら検討を進めました。これまで1階と2階を常時事務所として活用していたのを、2階の1フロアのみで全社員が仕事できるようレイアウトを考え、個人の固定席をなくしたフリーデスクを採用しました。この取り組みをしたことにより本年度電力の大幅削減へと繋がり、成果が出せたと思います。

次年度以降の取り組みとして昨年度からガソリンの使用量が増加傾向にあるので改善できるよう活動します。

■環境活動の紹介



LED照明



太陽光発電



遮熱塗装



会社周辺清掃活動



避難訓練



2階事務所(フリーデスク)



1階ミーティングルーム



1階ショールーム